

# 学生が『学ぶ』関わり方を考える ～授業の工夫や学生支援のヒントを探る～

## ◆開催日時・場所◆

**6月7日(土)13:00～18:00**

**会場:大東文化大学 大東文化会館** (東武東上線 東武練馬駅より徒歩3分)

※終了後18:30より情報交換会を予定しております。是非ご参加下さい。

## ◆開催に向けた思い◆

「教育サロン」とは、「学生に対する願い」「授業に対するこだわり」「ご自身の専門分野に対する想い」などをお持ちの方々が、経歴、専門分野、授業内容、向き合う学生、それらの違いを超え、テーマについてざっばらんに語り合う場です。話題提供していただく先生もいらっしゃいますが、その内容だけにとらわれることなく、むしろ触発されて出てきた、参加者の方々のワクワク感、嬉しかったこと、またお悩み、学生さんのお話などを、話していただけるような場になればと思っております。お忙しい折とは存じますが、是非お越しいただき、充実した時間を過ごしていただければ幸いです。

## ◆プログラム予定◆

13:00 開会の挨拶 発起人 名城大学 人間学部 池田輝政氏

13:10 実習「あなたの学習スタイル」「記者会見」

15:00 話題提供、質疑応答

**松山大学 経済学部 教授 熊谷太郎氏**

**「学生の『学び』を深めることを考えたらこんな授業になりました」**

「経済政策論Ⅰ」 なぜこのような授業に至ったのか? など背景、動機を含め提供します。

[2014年度前期テーマ:財政・金融政策、社会保障:医療と年金、若年者就業と雇用問題]

講義中はもちろん、講義以外の時間で学生が学びを深めるためにはどうしたらよいか真剣に考えてきました。その1つの結論として、教えることと学ぶための時間のバランスが大切なのだと考えるようになりました。もちろん、時間外だから自由に学んでくださいだと、学生は路頭に迷うこととなります。学びを深めるための仕掛け作りをこちらで用意すれば学生は学びを深めるだけでなく、学生が学ぶ習慣づくりの手助けになります。学ぶ学生を見ることで、また教員も学びを深め、良い循環が生まれることとお話します。

【プロフィール】

専門は、ゲーム理論、法と経済学・契約理論などの応用ミクロ経済学。担当科目は経済政策論以外に、公共経済学、ミクロ経済学入門、演習など。2012年から講義内容の改革に取り組み、今年で3年目。学生を信じ、何を身につけてもらいたいかを明確にし、講義改革を行うことが大切と感がている。

15:55 話題提供をふまえてグループでふりかえり、全体共有

17:45 まとめ (18:00終了)

**発起人:名城大学 人間学部 池田 輝政氏**

【プロフィール】専門は高等教育経営学、教育学。九州大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。教育職員の高度化を目的とする大学院(大学・学校づくり研究科)を立ち上げ、国公立の大学教員のための授業開発研修会、大学および初等・中等学校の指導層への戦略開発研修会に赴くなど、教育と経営の両分野の課題解決に向けて指導とコンサルティング活動を行う。国立大学協会大学評価専門委員ほかを歴任。著書に『成長するティップス先生—授業デザインのための秘訣集』(戸田山和久・近田政博・中井俊樹と共著)など

